

被爆 75 年「平和の波」行動についてのお願い

2020 年 6 月 17 日

原水爆禁止世界大会実行委員会

全国および海外の友人のみなさん、

原水爆禁止世界大会実行委員会は 5 月 8 日総会を開き、被爆 75 年のことし 8 月 6 日から 9 日までの 4 日間、核兵器廃絶を共通の課題とし、「ヒバクシャ国際署名」を共通の行動とする草の根の国際共同行動「平和の波」を行うことをよびかけました。

広島への原爆投下時間 6 日の 8 時 15 分を起点に、長崎の原爆投下時間 9 日の午前 11 時 2 分までの 4 日間、創意に満ちた多彩な行動で世界を覆います。

「平和の波」の運動は、原水爆禁止 1987 年世界大会でソ連とアメリカの平和運動の代表により、当時核兵器全面禁止を求める署名として取り組まれていた「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」を共通の行動とし、核兵器廃絶を共通の目標とする国際共同行動として提案されました。それは、10 月 24 日、第 10 回国連軍縮週間の初日、地球の自転に合わせて世界をまわる草の根行動の連鎖とするという形態のユニークさと相まって世界から支持され、当日は、日付変更線の西側から世界 50 カ国と太平洋諸島の人々が参加する壮大な行動となりました。その後、1991 年まで合計 5 回にわたって行われ、この運動は、核兵器の廃絶を世界の反核平和運動の統一要求とし、国際政治のアジェンダとする上で比類ない役割を果たしました。

いま、私たちが提起する「平和の波」は、この流れをさらに新たな段階へと推し進めるものです。人類が対立と紛争、コロナ、気候変動、格差と貧困など危機に直面しているいま、「自国優先主義」による対立や分断、紛争を止め、核兵器をなくし、共同と連帯へと向かうことが強く求められています。「平和の波」は、核兵器廃絶を求める世界の運動が、軍事費削減、人々の命と暮らしと雇用、ジェンダー平等、平和で公正で持続可能な世界など、さまざま課題の運動と共同、連帯して世界を変える壮大な取り組みです。

この行動は、たった一人の行動から何万、何十万の人々の行動まで、また、コロナ禍の中でソーシャルネットワークを生かした行動から、条件に応じたミーティングや行進など、どのような国、どのような状況の中でも創意を生かして準備し、連帯して取り組める行動です。成功のカギはあなた自身の知恵と行動です。

みなさんの計画を、私たち「平和の波」推進委員会まで知らせてください。私たちは、世界のすべての行動を一つに集め、発信し、グローバルな連帯のプラットフォームを提供します。

返送先：「平和の波」推進委員会

原水爆禁止世界大会実行委員会内（事務局：日本原水協）

東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働会館 6 F

antiatom55@hotmail.com TEL 03-5842-6035/Fax03-5842-6033

「平和の波」推進委員会宛

日本原水協のEメールアドレスにお送りください。

antiatom55@hotmail.com

回 答 用 紙

氏名 ()

- 団体名・地域名 ()
- 連絡先 ()
- 行動計画など